

令和7年
9月1日号
広報
No.772

あきる野

今号の主な記事など

- 市の施設のネーミングライツ・パートナーが決定…2面
- あきる野市公園等管理・運営ガイドライン(素案)に対するご意見をお聞かせください…2面
- あきる野市消防団サポート店を募集しています…3面



あきる野市市制施行



周年



あきる野市長 中嶋 博幸

平成7年に秋川市と五日市町が合併してあきる野市が誕生し、本日、市制施行30周年を迎えました。これまで、市の発展にご尽力いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。

この30周年を一つの節目として、将来都市像である「豊かな自然と人々の絆に包まれ 人やまち、文化を育む 安全・安心なまち あきる野」の実現に向け、今後も市民の皆様との絆を大切にしながら、自然と調和した持続可能なまちづくりを推進してまいります。

令和7年9月1日

9月1日
防災の日



令和7年度秋川流域3市町村・第九消防方面合同総合水防訓練 倒壊家屋からの救助訓練の様子

防災行政無線放送確認ダイヤル

防災行政無線の内容が天候などにより、聞き取れない場合は、防災行政無線放送確認ダイヤルで、放送内容を確認することができます。

- ☎0120-558-540(フリーダイヤル、市内の固定電話から利用可能。050から始まる一部のIP電話は利用できません)

- ☎558-7777(有料ダイヤル、携帯電話やその他の電話から利用可能)

※放送後24時間まで聞くことができます(定期的な放送は除く)。

もしもに備える 地震・台風・大雨!

家庭内備蓄をしておきましょう

防災の「備蓄」は、日常生活の延長で考え、「普段使っているものを少し多めに買って置く」という視点が大切です。自宅には、パスタや缶詰、レトルト食品など、日常的に備蓄している食材があり、災害時には、それらを食べてから非常食を食べる、という考えに立って、備蓄をしておきましょう。

また、人が生活するには、**1日に1人3リットル**の水が必要とされています。食料に併せ、**最低でも3日分(できれば1週間分)**は、備蓄をしておきましょう。日常から服用している薬等も備蓄しておくことで安心です。



あきる野市メール配信サービス

気象情報や避難所の開設、避難勧告等の情報を電子メールで配信しています。防災行政無線の放送の内容もメールで受信することができます。受信には事前の登録が必要となります。未登録の方は、二次元コードを読み取り、登録してください。



問合せ 地域防災課防災係